

21世紀金融行動原則

ASICS

「ビジネスと人権」

サプライチェーンでの推進

吉川美奈子

ASICS Corporation



- 外的環境の変化 社会的責任から法令遵守、市場の条件へ(環境、人権)
- 付加価値創造による新規事業・市場創造や競争力強化

## Planet&People

欧州議会コーポレート・サステナビリティ・デューデリジェンス指令(CSDDD)を採択し、企業の人権・環境デューデリジェンスを義務化

## Planet:

EU成長戦略「欧州グリーン・ディール」の中核的政策目標「サーキュラーエコノミー行動計画」の「持続可能な循環型繊維製品戦略」では、2030年までにEU販売の繊維製品を、耐久性があり、リサイクル可能で、リサイクル済繊維を大幅に使用する等の要件強化が進む



## Planet:

国連生物多様性条約締約国会議(COP15, 2022年12月)にて、2030年目標「陸と海の30%を保全する」合意

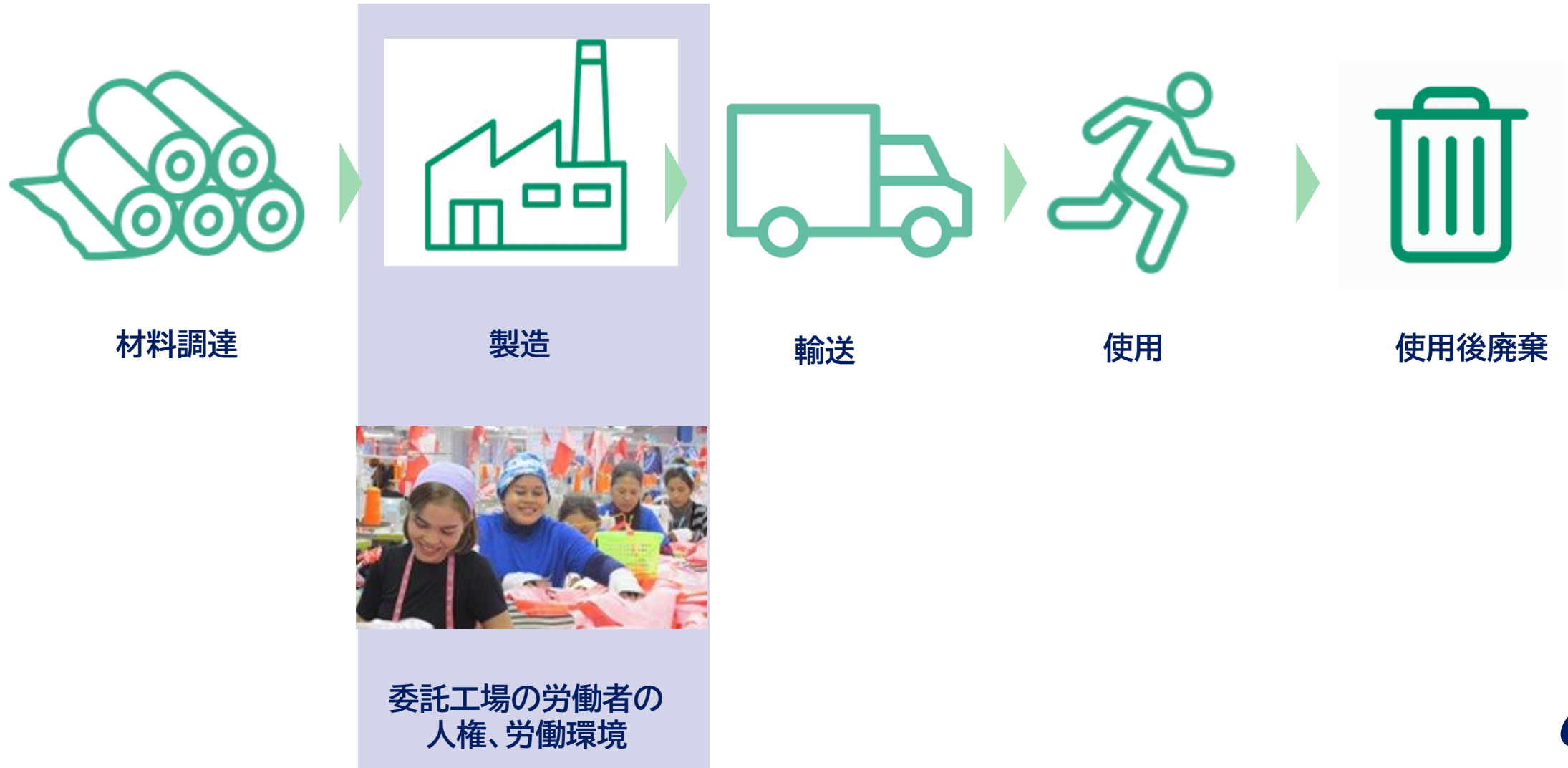
## Planet&People

- 製品のトレーサビリティ、環境負荷表示規制
  - 2023: フランスで消費者への製品の環境情報提供に関する法規制施行
  - 2023: 米ニューヨーク州議会でファッションの持続可能性と社会的説明責任に関する法案可決予定
  - 2025/2026: フランス・欧州にて製品の環境負荷表示に関する法規制導入予定

## People:

「ビジネスと人権」の日本の国別行動計画(NAP)

シューズとアパレルの製造は労働集約型であり、製造段階の人権リスクが高い。



- 一次委託先工場200以上 20か国以上
- 東南アジア中心

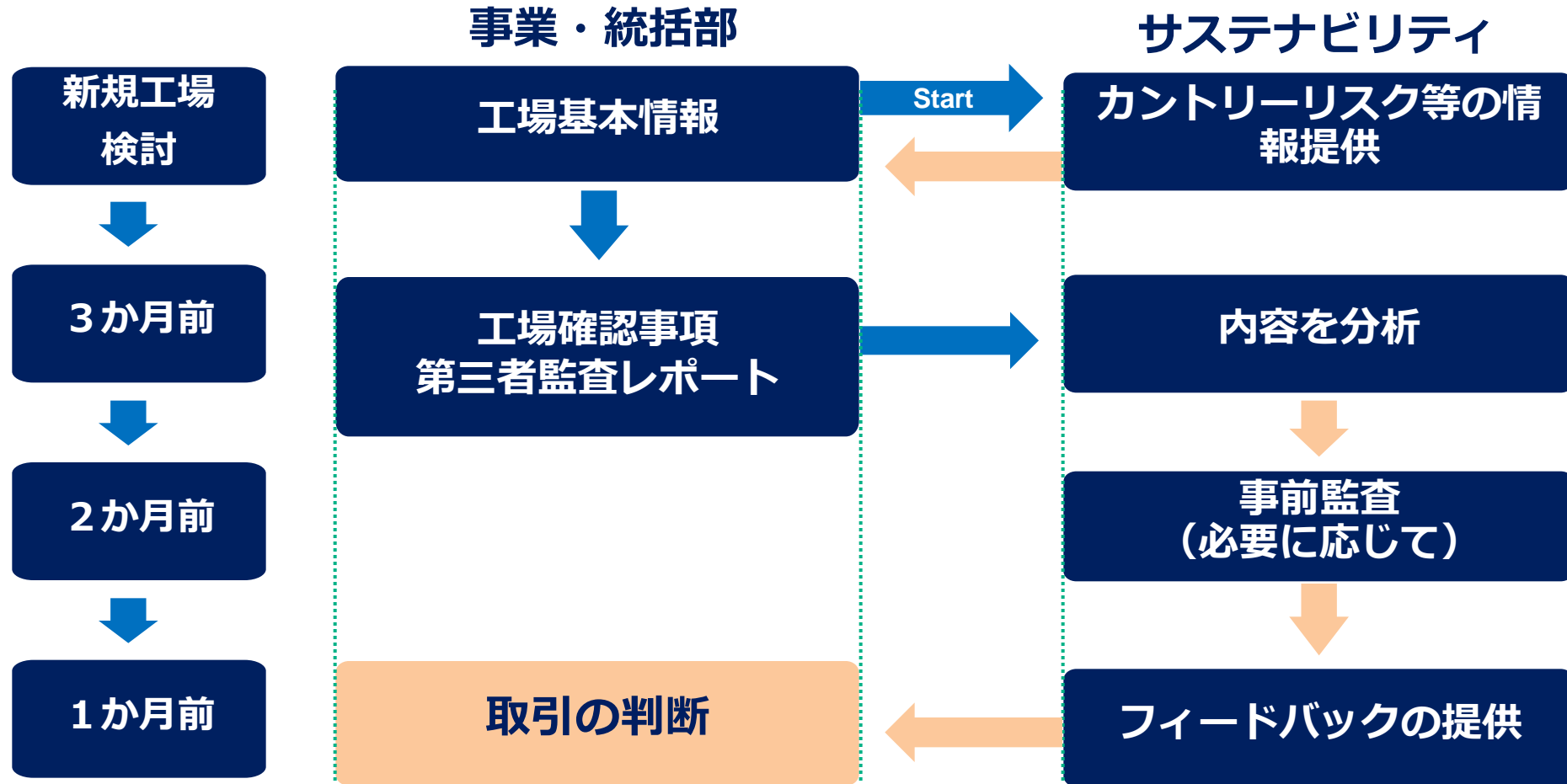


委託先工場に対し、  
品質、納期、値段に加え  
サステナビリティ(人権・労働条件、環  
境)を重視



	WHAT	HOW
コミットメント 方針	人権方針 サプライヤー行動規範 ガイドライン	社内外への周知を徹底 契約書に統合
モニタリング	サプライヤー監査 改善	対象：1次サプライヤー（生産工場）と主要な2次サプライヤー 自社、第三者監査、ILO x IFCのベターワークプログラム サプライヤーでの改善と確認 改善が進まない場合はWarning（督促）とビジネス関係の見直し検討 主要確認項目：強制労働、児童労働、ハラスメント、差別、結社の自由および団体交渉権、報酬、労働時間、健康および安全衛生 （契約前スクリーニング）
キャパシティビルディング 教育能力開発	サプライヤー研修	ベトナムやインドネシアのサプライヤーへの研修（現地語） ベターワークと協働 研修内容：労働法改正への対応、優先改善項目（強制労働、労働安全衛生等）
開示	評価結果 対応案件 サプライヤーリスト  公正な購買慣行	評価結果開示、サプライヤーの労働組合（者）の労働争議案件を開示予定 サプライヤーリストを開示 開示対象：ビジネスの90%を占める、1次サプライヤーと主要な2次サプライヤー  購買慣行：発注計画の共有、サンプル品や残材料の取扱い、支払期間条件等を開示

新規の委託先工場検討段階でサステナビリティ基準を満たすことを確認した上で、取引を開始する。

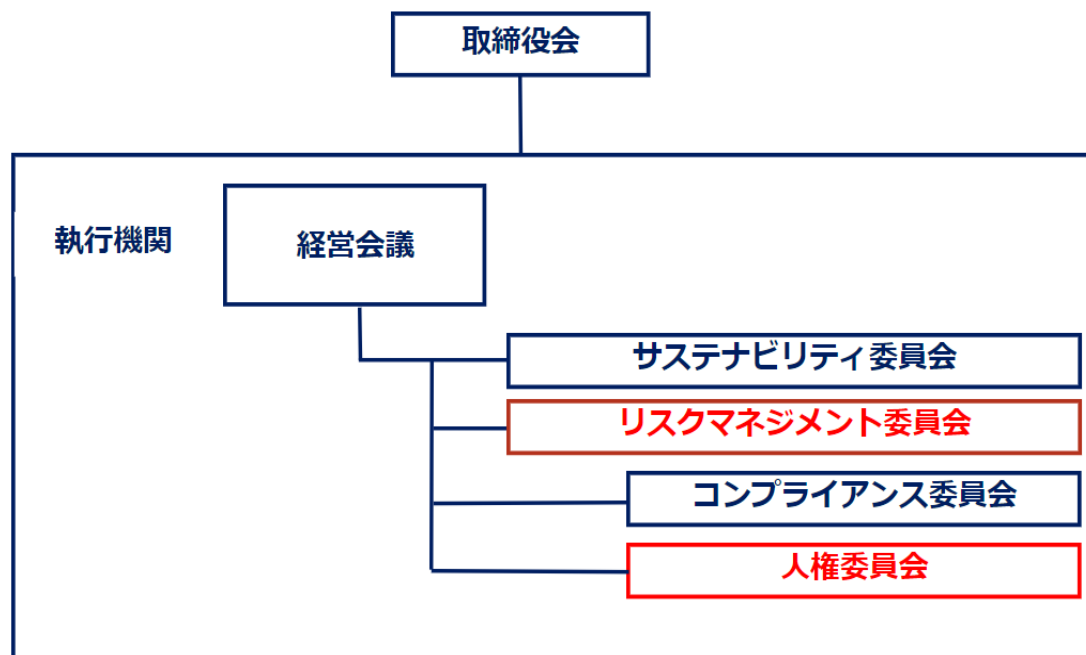


基準を満たした生産委託工場も定期的に監査を実施し、継続的な改善のサイクルを回している。

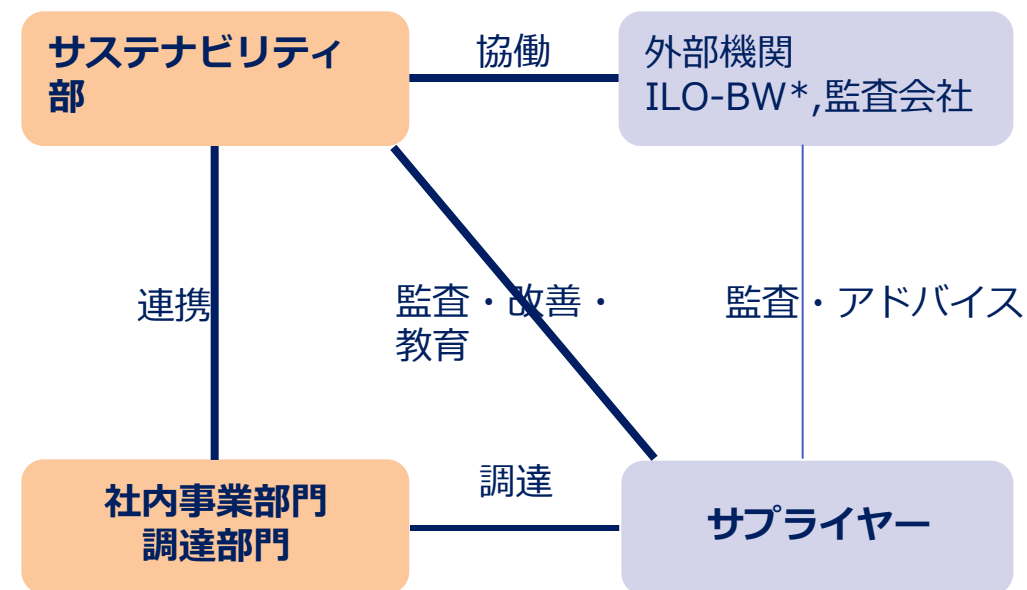


- ・サプライチェーンの人権リスクは、人権委員会→リスクマネジメント委員会→経営会議→取締役会の監督
- ・サステナビリティ部と調達部門が連携して、委託工場の改善を推進する

## ガバナンス体制



## 推進体制



サプライヤーの管理やリスク情報を共有し、アクションを合意する会議を事業部門と半期に1度実施。リスク委員会にも報告され、役員層によってレビューされる。

\*ILO-BW: International Labour Organization(ILO)、Interantional Finance Corporation(IFC) Better Work Programme



Sound Mind  
Sound Body

Thank you

